

役員 2017年7月1日現在

■取締役

取締役会長 丹呉 泰健
 代表取締役社長 小泉 光臣
 代表取締役副社長 新貝 康司
 代表取締役副社長 岩井 睦雄
 取締役副社長 宮崎 秀樹
 取締役 岡 素之*
 取締役 幸田 真音*

*取締役 岡 素之および幸田 真音は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 中村 太
 常勤監査役 湖島 知高
 監査役 今井 義典*
 監査役 大林 宏*

*監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

*法令に定める監査役の員数を欠くことなる場合に備え、補欠監査役 政木 道夫を選任しております

■執行役員

社長 (CEO) 小泉 光臣
 副社長 (副CEO、コンプライアンス・総務・法務・人事・企画・IT・ビジネスディベロップメント・監査担当) 新貝 康司
 副社長 (たばこ事業本部長) 岩井 睦雄
 副社長 (財務・CSR・コミュニケーション担当) 宮崎 秀樹
 専務執行役員 (コンプライアンス・総務担当) 千々岩良二
 専務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業プレジデント) 佐々木治道
 常務執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長) 山下 和人
 常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者) 前田 四郎治
 執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画室長) 福地 淳一
 執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長) 嶋吉 耕史
 執行役員 (たばこ事業本部 R&D責任者) 柴山 武久
 執行役員 (たばこ事業本部 製造責任者) 大友 平和
 執行役員 (たばこ事業本部 原料責任者) 小倉 健資
 執行役員 (たばこ事業本部 品質保証責任者) 伊熊 浩之
 執行役員 (医薬事業部長) 藤本 宗明
 執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長) 大川 滋紀
 執行役員 (財務責任者) 見浪 直博
 執行役員 (CSR担当) 永田 亮子
 執行役員 (法務担当) 山田 晴彦
 執行役員 (人事担当) 廣渡 清栄
 執行役員 (企画・IT担当) 前田 勇氣
 執行役員 (ビジネスディベロップメント担当) 筒井 岳彦
 執行役員 (コミュニケーション担当) 中野 恵
 執行役員 (総務担当) 菊池 孝徳

株価の推移 1994年10月27日上場～2017年7月 当社株価（東証終値、月間）



*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
 TEL 03-3582-3111 <https://www.jti.co.jp/>

株主・投資家の皆さまへ

業績報告書

vol.58



2017年度 第2四半期決算報告

JT NEWS

ひとの
 ときを、
 想う。 JT

海外たばこ事業および医薬事業が利益成長を牽引し、為替一定ベースで増益



代表取締役社長
小泉 克己

2017年度 第2四半期実績

全社の利益指標である為替一定ベースの調整後営業利益は、海外たばこ事業および医薬事業の堅調なパフォーマンスが、国内たばこ事業および加工食品事業での減益を上回り、厳しい事業環境の中でも、前年同期比で3.6%の利益成長となりました。

財務報告ベースの売上収益および調整後営業利益は、国内たばこ事業における紙巻総需要の減少および海外たばこ事業での不利な為替影響を主因として、前年同期比それぞれ2.9%の減収、1.2%の減益となりました。また、営業利益・四半期利益については、これらに加えて、不動産関連売却益の減少等により、前年同期比それぞれ9.2%、8.7%の減益となりました。

海外たばこ事業は、イラン、台湾および新興市場での好調なパフォーマンスがあったものの、さまざまな市場における総需要の減少および競争激化に加え、前年同期における流通在庫充実による相対減等により、総販売数量は前年同期比3.3%減少いたしました。一方、GFB販売数量*については、主要市場におけるシェアの伸長等により、前年同期並みの実績となりました。

ドルベース、為替一定ベースでは、自社たばこ製品売上収益は前年同期比でほぼ同水準、調整後営業利益は、主に製造拠点最適化によるコスト低減効果が着実に発現したことにより、9.1%の高い利益成長となりました。

財務報告ベースでは、現地通貨安によるネガティブな為替影響を受け、自社たばこ製品売上収益は1.9%の減収、調整後営業利益は0.5%の増益となっております。なお、円ベースの調整後営業利益については、円安がポジティブに作用し、前年同期比+1.0%の増益となりました。

国内たばこ事業については、趨勢減およびたばこ

ペーパー製品**市場拡大の影響を主因に、紙巻総需要は11%の減少となり、JT紙巻販売数量も11%強減少しました。市場シェアについては、「メビウス」が前年の定価改定の影響を受けたものの、その他の主力ブランドが堅調なパフォーマンスを見せ、JTトータルでは前年並みの実績となっております。「ナチュラル・アメリカン・スピリット」は、紙巻総需要が大幅に減少している中、販売数量、市場シェアともに伸長し、堅調なモメンタムが継続しております。

自社たばこ製品売上収益は、「メビウス」、旧三級品の定価改定による単価効果等があったものの、紙巻販売数量の減少影響により、前年同期比7.6%の減収となりました。調整後営業利益については、減収影響を紙巻たばこに対する投資水準最適化を通じたコストの減少等により一部相殺したものの、7.4%の減益となりました。

医薬事業は、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加を主因として、前年同期比で売上収益は69億円の増収、調整後営業利益は62億円の増益となりました。加工食品事業については、調味料の売上は伸長したものの、その他商品の販売が減少したことにより、前年同期比で売上収益は25億円の減収、調整後営業利益は10億円の減益となりました。

2017年度 修正見込

2017年の全社修正見込については、為替一定調整後営業利益は医薬事業での好調なパフォーマンスが見込まれるものの、国内たばこ事業におけるさらなる環境変化の影響を反映し、100億円の下方修正といたします。国内の環境変化は今期の損益には一層の逆風となりますが、それでもなお、海外たばこ事業における一桁台後半の利益成長および医薬事業の着実な利益貢献等を

見込むことにより、対前年での為替一定調整後営業利益は1.7%の増益を見込みます。

為替影響を含む財務報告ベースでの業績については、為替レート的前提を、主要現地通貨対ドル、ドル対円ともにポジティブ方向へ見直したことから、売上収益は150億円、調整後営業利益は20億円の上方修正といたします。

営業利益は、調整後営業利益を見直したこと等により、50億円上方修正しますが、当期利益については、金融損益の悪化等を見込んでおり、当初見込から変更いたしません。

なお、一株当たり配当金については、年間で140円と当初予想から変更なく、中間配当金は70円をお支払いする予定です。

2017年度下期に向けては、国内外での総需要の減少や競争の一層の激化が見込まれますが、通期の利益成長を達成するための施策を計画通りに実行しつつ、将来の利益成長に向けた事業投資も着実に推進してまいります。

引き続き4Sモデルに基づき、グループ一丸となって事業環境の変化に対応し、中長期にわたる一桁台半ばから後半の利益成長を目指してまいります。

- * JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「LD」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「グラマー」「ソプラニー」「シルクカット」「ナチュラル・アメリカン・スピリット」の9ブランドをグローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)としております
- ** たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させず、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を愉しむ製品カテゴリーを「たばこペーパー製品」としております

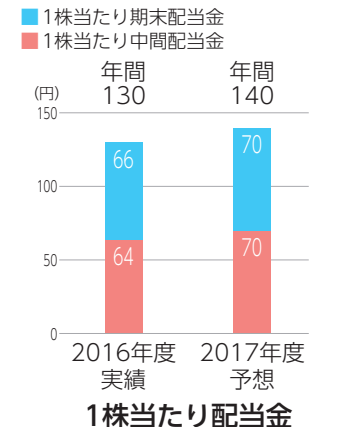
2017年度 第2四半期決算 全社実績

	2016年1-6月	2017年1-6月	対前年同期増減率
為替一定ベース			
調整後営業利益*1	3,183	3,297	+3.6%
財務報告ベース			
売上収益	10,769	10,453	-2.9%
調整後営業利益*1	3,183	3,147	-1.2%
営業利益	3,450	3,133	-9.2%
四半期利益/当期利益*2	2,471	2,256	-8.7%

1 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目(収益および費用)
*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失+リストラックチャリング収益および費用等

*2 親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益

(単位: 億円)			
2017年度当初見込	修正見込	対当初見込増減	対前年度増減率
6,070	5,970	-100	+1.7%
21,100	21,250	+150	-0.9%
5,870	5,890	+20	+0.4%
5,600	5,650	+50	-4.8%
4,020	4,020	-	-4.7%

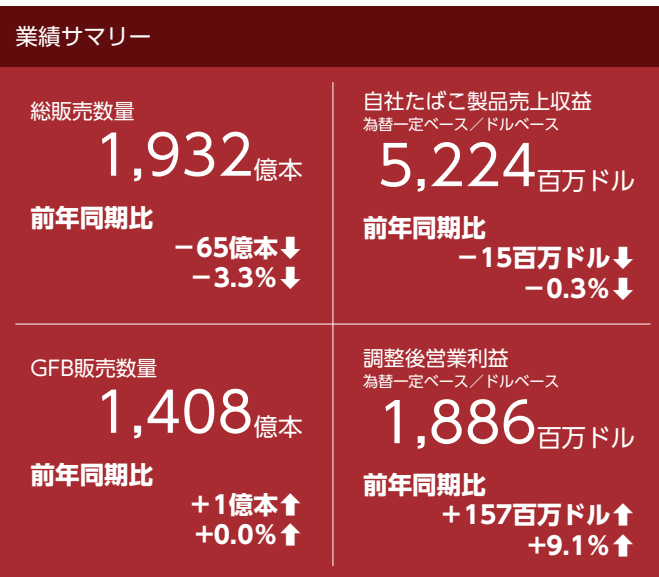


海外たばこ事業

今期のポイント

- 総需要減少、競争激化、前年同期での特殊要因*等により、総販売数量は減少
- 主要市場でのシェア伸長等により、GFB販売数量は堅調
- 主にコスト低減効果が着実に発現したことにより、為替一定で増益

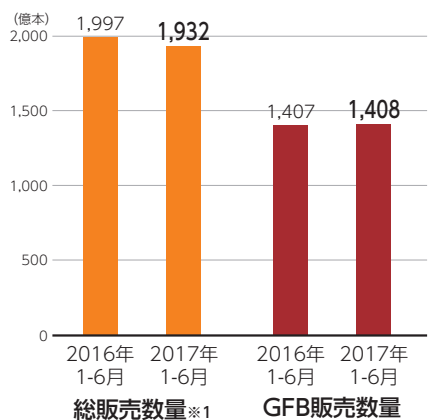
*前年同期の欧州における流通在庫充実



主要市場シェア (12か月移動平均)			
	2016年 6月	2017年 6月	増減%pt
フランス	21.6%	22.1%	+0.5%pt
イタリア	22.3%	23.4%	+1.1%pt
ロシア (うちGFBシェア)	33.5% (24.4%)	32.4% (24.6%)	-1.1%pt (+0.2%pt)
スペイン	22.5%	23.4%	+0.9%pt
台湾	39.3%	41.0%	+1.7%pt
トルコ	29.9%	29.1%	-0.8%pt
英国	42.1%	40.9%	-1.2%pt

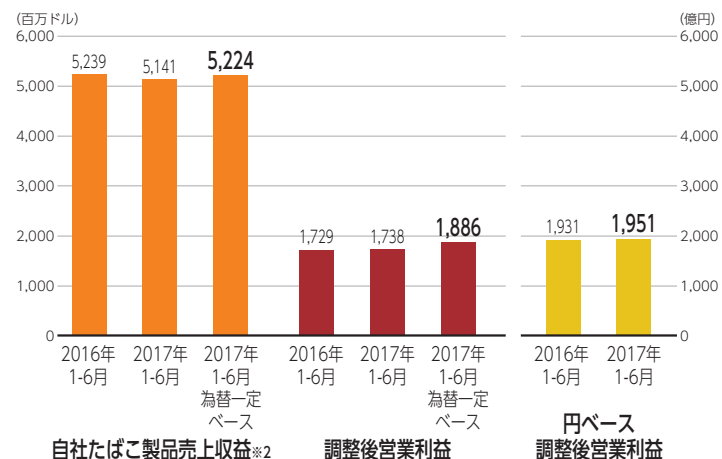
小数点第一位未満を四捨五入して表示しております
Source: IRI, Nielsen, Logista

海外たばこ事業販売数量実績



※1 水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み

海外たばこ事業財務実績



※2 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み

国内たばこ事業

今期のポイント

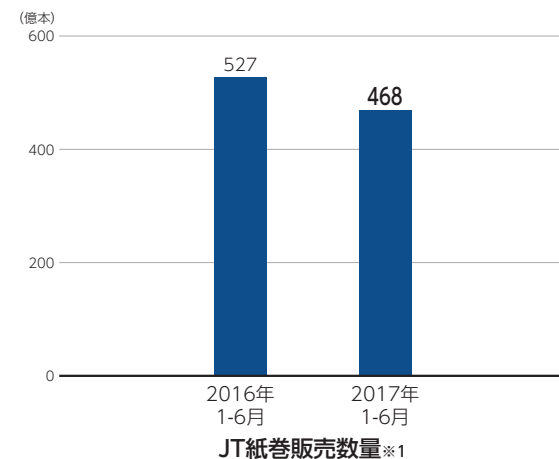
- 趨勢減、たばこペーパー市場拡大による紙巻総需要の減少により、紙巻販売数量は減少
- 「ナチュラル・アメリカン・スピリット」のシェア伸長等もあり、JTシェアは堅調に推移
- 紙巻販売数量の減少により、減収・減益



JTシェア/注カブランドシェア			
	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減%pt
JT	61.1%	61.0%	-0.1%pt
MEVIUS	31.5%	31.1%	-0.4%pt
Winston	8.0%	8.1%	+0.1%pt
SevenStars	7.5%	7.6%	+0.1%pt
AMERICAN SPIRIT	1.5%	1.8%	+0.3%pt

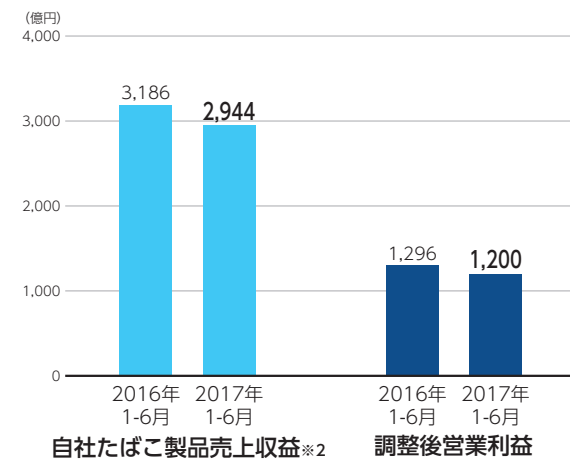
小数点第一位未満を四捨五入して表示しております

JT紙巻販売数量実績



※1 国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない

国内たばこ事業財務実績



※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Emerging Productsの売上を含む

医薬事業

✓今期のポイント

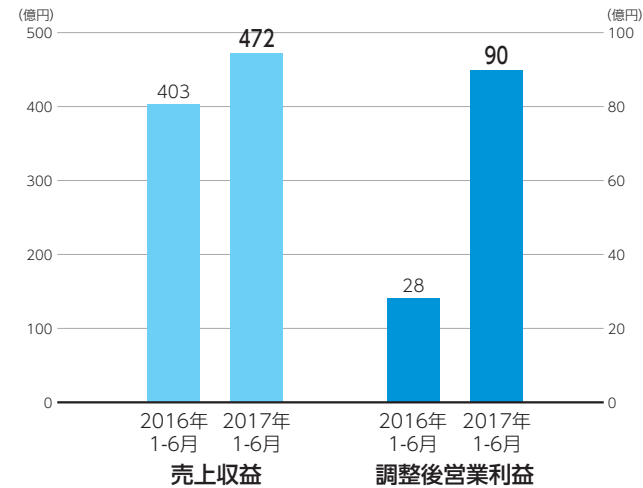
●導出品販売好調によるロイヤリティ収入の増加により、増収・増益

業績サマリー

売上収益
472億円
前年同期比
+69億円↑
+17.1%↑

調整後営業利益
90億円
前年同期比
+62億円↑
+224.5%↑

医薬事業財務実績



加工食品事業

✓今期のポイント

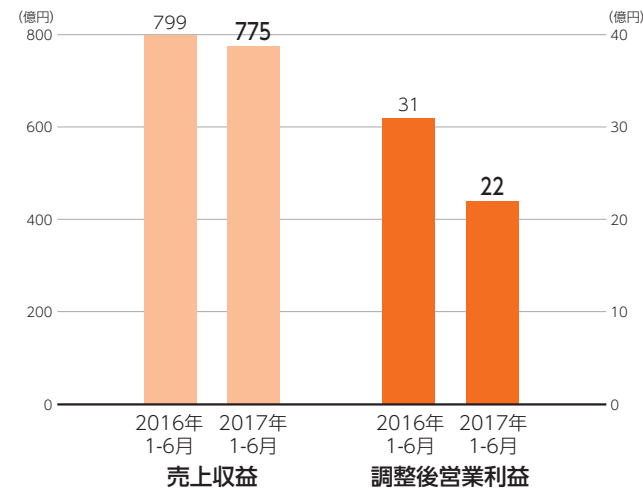
●調味料の販売が伸長したものの、
その他商品の販売が減少したことにより、減収・減益

業績サマリー

売上収益
775億円
前年同期比
-25億円↓
-3.1%↓

調整後営業利益
22億円
前年同期比
-10億円↓
-30.9%↓

加工食品事業財務実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予測しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

2017年度 第2四半期連結財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 12月末	2017年 6月末	増減金額
資産			
流動資産	1,605,990	1,451,468	△154,523
非流動資産	3,138,384	3,166,897	28,513
有形固定資産	680,835	686,138	5,303
のれん	1,601,987	1,629,796	27,809
無形資産	423,970	403,187	△20,783
投資不動産	18,184	18,633	449
退職給付にかかる資産	23,680	24,230	549
持分法で会計処理されている投資	123,753	127,624	3,870
その他の金融資産	99,358	115,432	16,074
繰延税金資産	166,617	161,857	△4,760
資産合計	4,744,374	4,618,364	△126,010

(単位：百万円)

科目	2016年 12月末	2017年 6月末	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,356,574	1,079,846	△276,728
非流動負債	859,759	861,244	1,485
負債合計	2,216,333	1,941,090	△275,243
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,456,091	2,604,611	148,519
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,410	10
自己株式	△443,822	△443,754	68
その他の資本の構成要素	△303,554	△262,045	41,509
利益剰余金	2,367,067	2,473,999	106,933
非支配持分	71,950	72,664	714
資本合計	2,528,041	2,677,274	149,233
負債および資本合計	4,744,374	4,618,364	△126,010

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減金額
売上収益	1,076,879	1,045,330	△31,549
売上原価	△433,713	△410,511	23,202
売上総利益	643,166	634,819	△8,347
その他の営業収益	59,904	32,268	△27,637
持分法による投資利益	2,649	3,484	835
販売費および一般管理費等	△360,700	△357,286	3,414
調整後営業利益※	318,332	314,659	△3,673
営業利益	345,020	313,285	△31,735
金融収益	3,880	2,921	△959
金融費用	△9,536	△13,294	△3,758
税引前四半期利益	339,364	302,913	△36,451
法人所得税費用	△90,084	△75,591	14,493
四半期利益	249,280	227,322	△21,958
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	247,094	225,635	△21,459
非支配持分に帰属する四半期利益	2,186	1,687	△499
四半期利益	249,280	227,322	△21,958

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)*

*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減金額
四半期利益	249,280	227,322	△21,958
税引後その他の包括利益	△324,847	41,412	366,259
四半期包括利益	△75,567	268,734	344,301
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	△76,232	267,027	343,259
非支配持分に帰属する四半期包括利益	665	1,707	1,042
四半期包括利益	△75,567	268,734	344,301

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 1-6月	2017年 1-6月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△106,667	40,485	147,151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△579,547	△52,555	526,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	371,375	△123,643	△495,018
現金および現金同等物の増減額(減少)	△314,839	△135,714	179,125
現金および現金同等物の期首残高	526,765	294,157	△232,608
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	△20,944	2,038	22,981
現金および現金同等物の四半期末残高	190,982	160,481	△30,502

2017年6月 Ploom TECH、東京で販売開始



■来年の全国拡販に先駆けて店舗を展開

JTは、6月29日から「プルーム・テック」の東京での販売を開始しました。「プルーム・テック」に加え、関連アクセサリも販売しております。来年の全国拡販に先駆けて「プルーム・テック」のコアファンを創出していきます。

Ploomショップ銀座店はユーザーの「プルーム・テック」ライフをサポートするだけでなく、たばこを吸われない方も楽しんでいただけるカフェやギャラリースペースも併設

店舗形態・狙い	規模	エリア
<p>Ploomショップ 「プルーム・テック」の専門店。ブランドの世界観を体感できる</p>	<p>3店 ※以降段階的に増加予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●Ploomショップ 銀座店 東京都中央区銀座4-3-5 銀座AHビルB1~2F 11:00~21:00 ●Ploomショップ 新宿三丁目店 東京都新宿区新宿3-11-6 エクレ新宿1F 11:00~21:00 ●Ploomショップ 中目黒店 東京都目黒区上目黒3-4-3 11:00~21:00
<p>Ploomコラボショップ 飲食店等とのコラボレーション。ベネフィット体感、使用シーンの可視化</p>	<p>5店 ※以降段階的に増加予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●essence café with Ploom TECH 東京都渋谷区東3-25-7 8:00~22:00 ●SIGN ALLDAY 東京都渋谷区代官山町19-4 代官山駅ビル 9:00~23:00 ●café STUDIO 東京都渋谷区神宮前4-31-10 YMスクウェア1F 11:00~23:30 ●Mercedes-Benz Connection / UPSTAIRS 東京都港区六本木7-3-10 メルセデスベンツコネクション2F 11:00~24:00 ●Rethink Lounge TORANOMON 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル1F [月~金]10:00~18:00
<p>Ploomステーション たばこ販売店様との協業。新規お客様へのリーチ</p>	<p>約100店 ※以降段階的に増加予定</p>	<p>千代田区、中央区、港区、新宿区、品川区、渋谷区 店舗詳細は公式Webサイトに掲載 https://www.ploom.jp</p>

※2017年7月26日現在

■製品ラインアップ

「プルーム・テック・スターターキット (キャリーケース付き)」

キャリーケースを従来のハードケースからソフトケースに変更し、パッケージも一新

【内容物】プルーム・テック・バッテリー、USBチャージャー、ACアダプター、キャリーケース
【希望小売価格】4,000円 (税込)

※「プルーム・テック・スターターキット」の購入は公式Webサイトでの事前予約が必要です。

USB
チャージャーも
入っています!



the future is plooming

「メビウス・レギュラー・フォー・プルーム・テック」

たばこ本来の味わい。深みのある香り立ちと、スムーズな吸い心地

「メビウス・クーラー・グリーン・フォー・プルーム・テック」

ストレートなメンソールの味わい。澄みきった香り立ちとシャープな清涼感

「メビウス・クーラー・パープル・フォー・プルーム・テック」

ベリーミントテイストの華やかな香り立ちに、爽やかな甘みと酸味。広がる清涼感

【内容物】たばこカプセル5本、カートリッジ1本 【小売定価】460円 (税込)

※「プルーム・テック」専用のたばこカプセルは、パイプたばことして財務省の小売定価認可を受けています

■Ploom TECHIについて

「プルーム・テック」は、たばこ葉を燃やさず、高温で加熱もしないJT独自の低温加熱方式により、においの発生を大幅に減少させます。また、空気の汚れもほとんどありません。燃焼に伴うたばこの煙のにおいがなく、灰も出ないので、周囲に配慮しながらさまざまな場面でお楽しみいただけます。

周囲への配慮という観点において、当社が目指す「たばこを吸われる方と吸われない方が協調して共存できる社会」の実現に貢献しうるものであると期待しています。

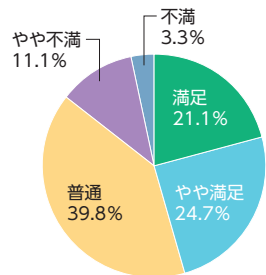
※このページは株主の皆様にも事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

株主様アンケート結果のご報告

第32回定時株主総会招集ご通知送付の際に実施しました株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回は、約4万6千名と非常に多くの株主様からご回答をいただきました。お寄せいただいたご回答の中から株主優待商品、株式保有に関する結果についてご報告いたします。

株主優待商品について

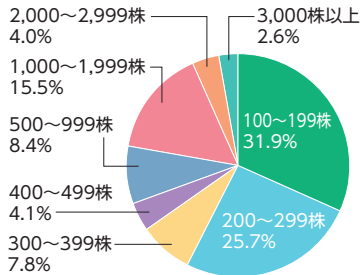
今回の株主優待商品の評価



ご評価いただいた結果を受けまして、よりご満足いただける優待商品をお届けできるよう、努めてまいります。

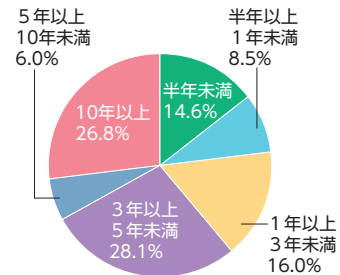
当社株式について

当社株式保有数を教えてください



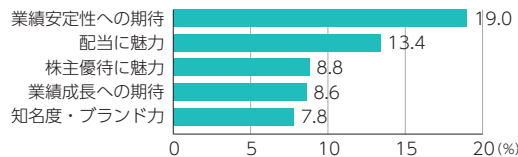
当社株式の保有期間について、2013年3月の売出し時からご所有いただいている株主様が多いこともあり、「3年以上5年未満保有」の株主様は28.1%、1994年の上場時から長期でご所有いただいている株主様を含め、「10年以上保有」の株主様は26.8% いらっしゃいました。

当社株式保有期間を教えてください



株式保有について

当社株式を保有した理由(上位5項目)



昨年に引き続き、当社グループの「業績安定性への期待」が当社株式保有の理由として一番多くのご回答をいただきました。株主様のご期待にお応えすべく、中長期にわたって持続的な利益成長を目指してまいります。また、次いで多くの株主様にご回答いただいた配当につきましても、1株当たり配当金の安定的・継続的な成長を目指してまいります。

株主優待商品の発送について

JTでは株主の皆様へ、当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループ事業をより一層ご理解いただきたいとの思いから、株主優待制度を実施しております。2017年6月30日現在、当社株式100株以上保有の株主様で、お申し込み期限(8月28日)までにお申し込みいただいた株主様につきましては、ご希望の優待商品を9月下旬より、期限までにお申し込みいただけなかった株主様につきましては、コース毎に予め当社にて指定している商品を10月上旬より順次贈呈させていただきます。

また、JTカレンダーは、株主優待のお申し込み期限までに「株主様ご優待申込書」にてご送付をご希望された株主様へのみ、11月下旬~12月上旬にお届けいたします。JTカレンダーのお申し込みにつきましては、8月28日をもって締め切らせていただいておりますが、お申し込みをご希望の株主様はお早め下記「JT株主優待事務局」へご連絡いただきますようお願いいたします。

優待商品・JTカレンダーにつきましては、2017年6月30日現在の株主名簿にご登録のご住所にお届けいたしますので、住所変更手続きがまだお済みでない場合、または今後住所に変更があった場合は、証券会社様でのお手続きをしていただくとともに、下記の「JT株主優待事務局」へご連絡ください。

株主優待に関する
お問い合わせ

JT株主優待事務局 ☎0120-791-187

事務代行：三菱UFJ信託銀行(株) 受付時間/平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始(12/30~1/4)を除く

工場見学会開催のご報告

2017年6月22日、23日、「JT関西工場」にて、株主様向けの工場見学会を開催いたしました。3,000名を超える株主様からご応募いただき、抽選によりご当選された株主様、ご同伴者様にご参加いただきました。見学会当日は、当社グループの概要や当工場の概要のご説明を行い、紙巻タバコの製造工程をご見学いただきました。当社グループ事業へのより一層のご理解と、株主の皆様とのコミュニケーションを深める機会として、今後とも工場見学会の企画・実施をまいります。



ご参加の皆様の声

- 工場で働く方々の挨拶が気持ちよかった。
- 整理整頓され、工場の中がとてもきれいだった。
- 見学前の説明もわかりやすくJTがとても身近になった。
- 見学の際は親切に案内いただき、今後もこのような企画があれば参加したい。

株主優待における寄付について

2016年12月31日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災及び熊本地震の復興支援に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、2,516名の株主様にご選択いただきました。

その総合計額4,587,000円を2017年6月9日に社会福祉法人 中央共同募金会「赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金2」及び「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」を通じて、寄付いたしました。ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



社会福祉法人
中央共同募金会とは

全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

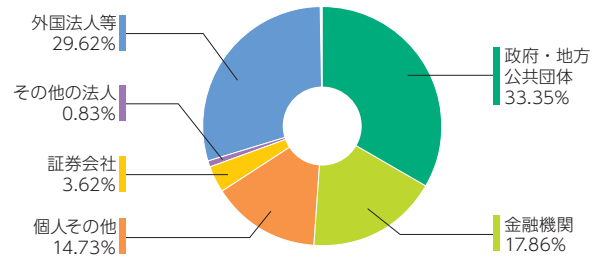
また、全国的な視野により活用される寄付金や2つ以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れ及び調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

会社概要

商号 日本たばこ産業株式会社 設立 1985年(昭和60年)4月1日
 本社所在地 〒105-8422 資本金 1,000億円
 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル
 TEL.(03)3582-3111(代表)
 FAX.(03)5572-1441
<https://www.jti.co.jp/>

株式の状況 2017年6月30日現在

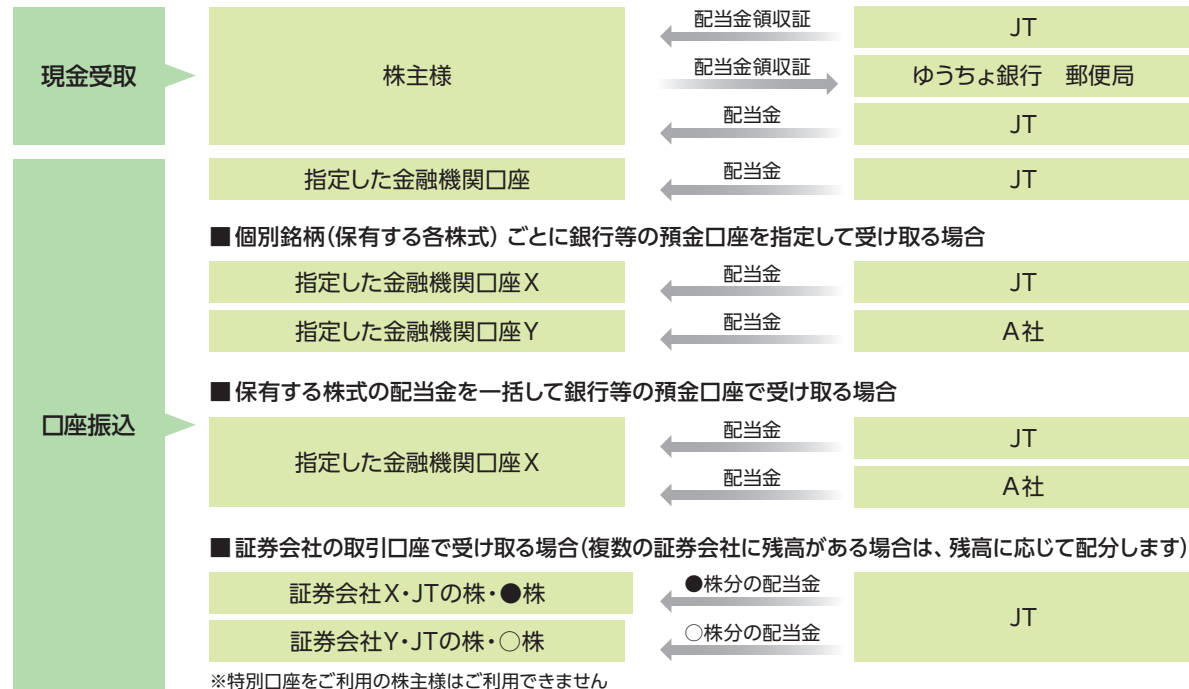
所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株
 発行済株式の総数 2,000,000,000株
 (自己株式 209,012,470株)
 株主数 157,869名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告
 当社ホームページ (<https://www.jti.co.jp/>) に掲載
 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■事務取扱場所
 東京都千代田区丸の内1-4-5
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■お問い合わせ先
 東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

■郵便物送付先
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の諸手続き 口座を開設されている証券会社までお問い合わせください

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などのご変更
- 配当金の受取方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関する事
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関する事
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失等のトラブル

三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください